

一般会計予算決算常任委員会  
総務文教分科会記録

令和7年9月2日

【開催日】 令和7年9月2日（火）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後3時45分～午後3時59分

【出席委員】

分科会長	伊場 勇	副分科会長	森山 喜久
委員	大井 淳一朗	委員	岡山 明
委員	笹木 慶之	委員	白井 健一郎
委員	松尾 数則		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	高松 秀樹		
----	-------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古川 博三		
総務部長	辻村 征宏	総務部次長兼人事課長	古屋 憲太郎
総務課長	杉山 洋子	総務課主幹	奥田 孝則
防災危機管理監	橋本 俊昭		
企画部長	和西 禎行	企画部次長兼企画課長	河田 圭司
財政課長	別府 隆行	財政課主幹	林 善行
財政課財政係長	久保 弘明		

【事務局出席者】

事務局長	石田 隆	議事係長	岡田 靖仁
------	------	------	-------

【審査内容】

- 1 議案第86号 令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第5回）について

---

午後3時45分 開会

---

伊場勇分科会長 それでは、ただいまより一般会計予算決算常任委員会総務文

教分科会を開会いたします。議案第86号令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第5回）について審査いたします。総務部と企画部に係る部分について、まず、歳入に係る説明を財政課よりお願いいたします。

別府財政課長 それでは、議案第86号令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第5回）の歳入のうち、一般財源部分について御説明します。補正予算書6、7ページをお開きください。19款1項1目1節の財政調整基金繰入金は、このたびの補正の財源調整として繰り入れるものであり、483万4,000円を増額しております。なお、このたびの補正により、令和7年9月第5回補正時点における財政調整基金繰入金の合計額は19億2,119万3,000円となり、令和7年度末の予算上の基金残高は、令和6年度決算を反映させた状態で27億1,547万9,000円となります。一般財源に係る説明は以上です。御審査のほどよろしく申し上げます。

伊場勇分科会長 歳入に係る説明が終わりましたので、まず歳入に係る質疑を行います。質疑のある方は挙手にてお願いします。（「なし」と呼ぶ者あり）次に、歳出に係る説明を総務課よりお願いします。

杉山総務課長 歳出について、補正予算書8、9ページをお開きください。このたびの補正は、2款総務費、1項総務管理費、14目防災費、12節委託料において、災害応急工事委託料を500万円増額するものです。災害応急工事委託料については、今年度の当初予算において1,000万円を措置しておりましたが、6月の雨で1件既に対応していたことに加えて、8月9日からの大雨により応急工事が必要となる被害が合計25件発生し、必要となる費用が予算額を大幅に超えることとなりました。この被害状況について概要を説明しますので、提出している資料を御覧ください。この資料は、市内で発生した被害状況を市域地図に落としたものです。発生場所にはそれぞれバツ印と枠内に発生箇所名を記載して

おります。バツ印、枠の色塗りの別については、資料の左下を御覧ください。上から順に赤色のバツ印で白色の囲みについては市道の通行止めを、青色のバツ印で青色の囲みは河川などからの越水を、茶色のバツ印でベージュの囲みは土砂崩れや越水により土砂などが流出した被害を、紫色のバツ印で薄紫色の囲みは災害応急箇所を、緑色のバツで緑色の囲みは土木課による災害復旧箇所を表しています。総務課所管の災害応急箇所は薄紫色の箇所で、合計25件です。内訳は、土木課対応分が16件、農林水産課対応分が9件です。こちらの地図を見ていただいたときに2色でグラデーションになっているものがございりますが、それについては、お話しした四角囲みの二つに該当する箇所ということで御理解ください。なお、災害復旧工事の箇所数は6か所で、罹災証明の発行状況としてそちらに記載しておりますが、家屋の床下浸水が1件、家屋のその他として雨漏りが1件、その他の発行として植木の被害が1件の合計3件がありました。このたびの大雨に対する災害応急25件については、おおよそ合計1,170万円を見込んでおり、当初予算に加えて予備費から充用して急ぎ対応しているところです。これにより、現在、災害応急工事委託料の予算残額がゼロ円となるところ、今後も台風の接近等による被害が見込まれますので、災害が発生した場合に迅速に応急対応を行うことができるよう補正をお願いするものです。補正額を500万円とすることについては、令和元年以降で秋の台風シーズンに支出した実績額を参考に算出しております。次に、この財源について御説明します。補正予算書の6、7ページを御覧ください。22款市債、1項市債、9目災害復旧債、1節農林水産業施設災害復旧債について、農林水産業施設災害復旧債を30万円、2節公共土木施設災害復旧債について、公共土木施設災害復旧債を3,620万円のうち120万円、それぞれ増額します。総務課からの御説明は以上となります。御審議のほどよろしく申し上げます。

伊場勇分科会長 執行部からの説明が終わりましたので、委員からの質疑を求めます。

大井淳一郎委員 説明いただいた地図にあるものは、全て復旧済みであるということでしょうか。

杉山総務課長 復旧済みのものもあれば、現在対応中のものもございます。

岡山明委員 今回、河川モニターが一時見られない時間帯があったんですよ。今回の災害と河川モニターの不具合との関連性はないですか。河川モニターに関しては別問題ですか。

奥田総務課主幹 河川カメラについて、災害との直接の関連はございません。10日午後1時頃でしたか。線状降水帯が発生したときに同時接続で6,000人以上のアクセスが重なって、サーバーの過負荷で接続に不具合が生じたという状況でございます。

白井健一郎委員 沖中川流域に2か所青のバツ印があります。これは一部越水ということですね。応急工事で一時的に直したということなんでしょうけれども、率直に言えば毎年あふれているわけです。この点を根本的に解決する計画はありますか。

奥田総務課主幹 こちらは水色の枠で囲っております。応急工事は薄紫色でございます。それから、沖中川流域の越水については、一般質問で建設部から御回答しておりますが、総務課の所管ではありませんので、この場での回答は差し控えさせていただきます。

白井健一郎委員 これは被害状況の地図であって、大きい工事はしていないと考えてよろしいですか。

杉山総務課長 災害応急の色がついているところについて、このたび災害応急工事委託料で措置しております。

白井健一郎委員 市道小野田駅前1号線、市道日の出町線辺りは、水があふれたことによってインターロッキングブロックが凸凹になっているんです。多分まだ直していないと思うんですけども、今回の応急だけではなくて、何か手当てを考えられていますか。

杉山総務課長 市道の管理は土木課の所管になります。今のお話について総務課で対応することはありませんので、所管課に伝えさせていただきます。

大井淳一郎委員 500万円の委託料を補正で組んでおるんですが、想定を超える場合もあり得ます。その場合の対応は予備費になるのでしょうか。

杉山総務課長 超えた場合には予備費で対応するという事で、庁内で調整しております。

森山喜久副分科会長 9月、10月の台風シーズンに対応して500万円と思うんですけど、令和になってから9月以降に発生した応急工事の金額が分かれば教えてください。

杉山総務課長 令和元年度以降の支出状況で8月以降の数字になりますが、令和元年度が510万円、令和2年度が約60万円、令和3年度が360万円、令和4年度が200万円、令和5年度が50万円、令和6年度が380万円となっておりますので、一番高かった500万円を基準としております。

森山喜久副分科会長 最大値を取っているんで、今のところこれでどうにかなる見込みということでもいいですか。

杉山総務課長 おっしゃるとおりです。

森山喜久副分科会長 補正予算資料でピンク色のところは24か所に見えるんですけど、25か所ですか。

杉山総務課長 分かりづらいんですけども、右側の上から三つ目の寝太郎用水路土砂というところからバツ印に向けた線が2本出ておりまして、25件24か所となります。

笹木慶之委員 罹災証明発行の件数があるんですけど、罹災証明が3件ありますね。その他の庭木というのは何ですか。

奥田総務課主幹 庭木については、地図の一覧表の左側の上から5番目のところ、小城川の越水の際に、庭木が水で流れて倒れていたのが罹災証明を発行したものとなります。

伊場勇分科会長 そのほか質疑はよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）  
以上で質疑を終わります。それでは、以上で総務文教分科会を閉会いたします。お疲れさまでした。

---

午後3時59分 散会

---

令和7年（2025年）9月2日

一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会長 伊 場 勇